

課題に挑む

技術士のソリューション

[182]

ビジネスを左右

米国大統領選におけるオバマ大統領のビッグデータ(大量データ)活用をはじめ、ソーシャルメディアやウェブ広告におけるビッグデータの利用が話題になっている。ビッグデータの活用が企業のビジネス成功のカギとなっていることも、一般



東京農工大学大学院農学系ゲノム科学人材育成プログラム特任教授

石井 一夫 (生物工学部門)

技術者教育 ③

情報処理学会でビッグデータ活用の実務家育成

に認識されつつある。

ビッグデータ活用は、情報通信分野、ウェブなどのメディアや広告流通分野で盛んに行われてきた。今後は製造業や農業などの第一次産業、環境

米追従脱せるか

一方、ビッグデータ活用の発端は、米国発の検索システムであるグーグル

一方、ビッグデータ活用の発端は、米国発の検索システムであるグーグル

できる人材の確保もまた重要な課題である。これらビッグデータ分析を行い、その利活用を促進する役割を担うデータサイエンティストとい

育てデータサイエンティスト

情報共有の場を提供

考えられ、多分野への利活用展開がビッグデータ活用の定着のカギとなる

国内のビッグデータ活用促進の潮流は、米国追従の感が否めない。先行する海外企業との競争優位性や日本の独自性を発揮

離れ、技術者の評価・待遇の低さなど、これらの技術の基盤構築と人材育成において国内の課題は非常に多い。

イベント連続開催

この状況を改善し、実務家同士の情報共有、情



オープンソースカンファレンス2013 Tokyo/Fairにて、ビッグデータ活用の現場で活躍している実務家らによるパネ

ルディスカッションを実施した。クラウドなど要素技術の導入、情報通信分野以外への応用展開、人材育成、プログラミングや統計解析など基盤技術の強化などの課題が話し合われ、さらに「ビッグデータ現場の会」と題した実際のデータ分析のデモも含む実務家向けのセミナー、講習会を実施した。今後は日本技術士会での継続教育活動であるCPD講座や、情報処理学会の大型イベントである「ソフトウェアジャパン2014」での講演会など継続した活動を行い、ビッグデータ実務家人材育成の一端を担っていく予定である。

(火曜日に掲載)